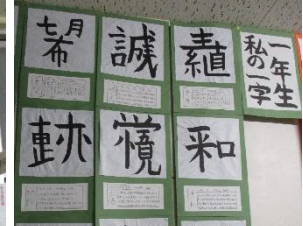
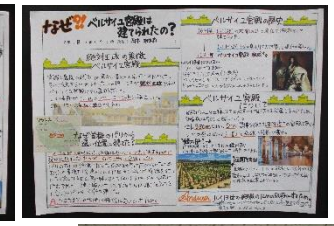
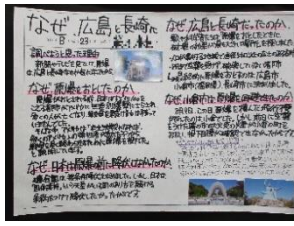
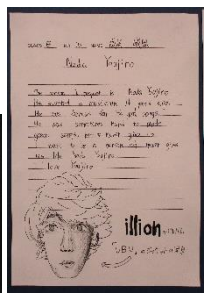
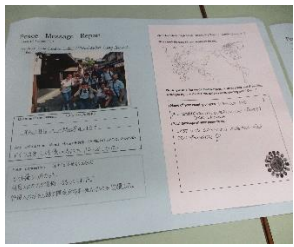
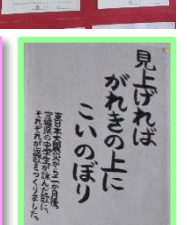
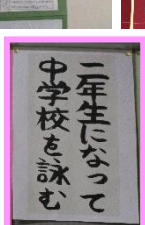
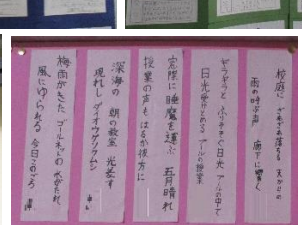
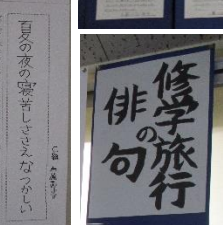
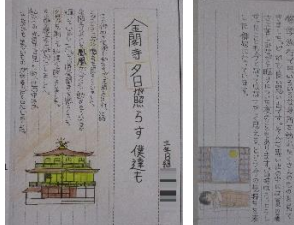
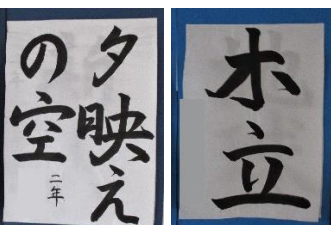
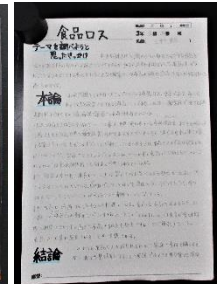
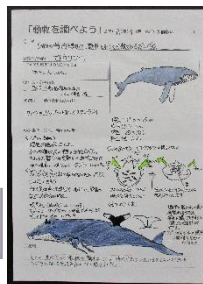


技術 英語



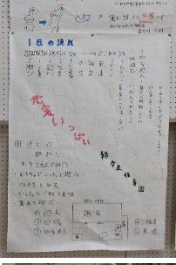
社会 国語





理科

総合



美術部



美術部
紙芝居



鉄道研究部

授業公開 1/11(土) 8:45-12:35



オリンピック・パラリンピック教育推進校講演会 1/11(土) 13:30~15:00

障がい者スポーツをモチーフにした教育・体験プログラムを企画運営している団体で、学校や自治体等で、障がい者アスリートを講師として開催している。

☆共生社会を生きる君たちへ☆
～車いすバスケットボール競技への理解を通して～
講師：NPO 法人パラキャン
内容：講師による講演と実演・体験



講演



実演



体験



ないものを見るだけでなくあるものに目を向けることが大切!

車いすバスケットボールの3つの特有のルール

1.ダブルドリブルがない
 ドリブルしてボールを持ち、またドリブルすることを何度繰り返しても問題ない。ただし、トラベリングのルールはある。ボールを持った状態で、車椅子をこげるのは2度まで、3回以上こぐとトラベリングになる。

2.障がいの重さによってクラス分け
 障がいの度合いは各選手によって異なる。そのため公平性を期すために、選手の障がいに応じて1.0から4.5ポイントまでクラス分けされている。コートに立つ5人の合計を常に14点以内になければならない。それぞれの選手の得手・不得手を理解してチーム構成、戦略を考える必要がある。

3.接触を避ける大原則
 最も難しいのは、車椅子の接触に伴うファウルの判定。車椅子は急には止まれないために、どうしても接触が頻繁に起こってしまう。そのため原則としてディフェンスは相手が方向転換する時間・距離を保った正当なポジションで守る必要がある。急に割り込む仕方ではオフェンスのラインに入り込むと、オフェンスに回避する余地を与えなかったことでディフェンスファウルとなる。逆にディフェンスが正当なポジションに入った状態でオフェンスと接触すればオフェンスファウルとなる。



面白いことはその辺に転がっている。だからつらい時は今日のことを思い出して前向きに生きて!!

できないことを数えるよりもできることを数えよう!



ありがとうございました!!